

松風平和

令和3年度

那覇市立松島中学校

学校便り [No. 14]

令和4年1月5日(水)

発行責任者 校長 喜屋武浩司

「2022年(令和4年)、あけましておめでとうございます！」

令和4年が始まりました。皆さんはどんなお正月を迎えましたか。親戚の家にあいさつに行ったり、初詣に出かけたり、家でゆっくり過ごしたり、もちろん、勉強に頑張った生徒もいるでしょう。

「^{あらたま}新玉め年に ^{たん}炭と^{くぶ}昆布 飾てい 心から姿 若くなゆさ」

これは沖縄の琉歌であり、新年を歌った「かじゃでい風」です。「新しい年を迎え、炭と昆布を飾って、身も心も若くなるようだ」と歌っています。

さて、沖縄に「しめ縄」を飾る文化が入ってきたのは本土復帰後と言われていますが、沖縄では「ちゃんぷる一文化」で、しめ縄に炭と昆布を巻き付けました。これは沖縄独特のもので、県外の一般的なしめ縄には付いていません。みかんは両方のものに付いています。橙(だいたい)という品種のみかんは、冬が過ぎても果実が記から落ちずに2～3年は枝に付いているそうです。そこで橙が代々に通じることから、子孫繁栄の正月の縁起物として全国的に使われるようになったようです。

沖縄では昔から、火の神(ひぬかん)などに、炭と昆布をお供えしていたそうです。炭は「長持ちする、消えない」「たんと、たくさん」という意味の縁起物だと思います。昆布は「こぶ」とも読みますから、日本全国で「よろこぶ」に通じる言葉で使われるようになったそうです。

皆さんにとっても、身も心も若返るそんな年になることを願っています。

「今年は寅年！どんな年になるでしょう？」

これまでの寅年をさかのぼって、どんなことが起こっているのでしょうか。

- バブル経済の始まり
- 世界初の女性宇宙飛行士が誕生した
- 世界最長の吊り橋「明石海峡大橋」が開通
- 人類初の有人衛星が達成された
- バラク・オバマ氏が黒人初の大統領に就任した

過去をさかのぼっても、寅年には「初」や「新」という漢字がつくような出来事が多くありました。2022年も「何か新しいことが始まる年」になるかもしれません。新しいことに挑戦する年としては、最適な1年間になるでしょう。皆さんも、ぜひ新しいことに挑戦して、素敵な一年、忘れられない一年にしてください。

ちなみに、松島中学校も「寅年生まれ」です。還暦(60歳)、おめでとう！



【中国の正月飾り】

